



特 別
 6590
 13



天保十一庚子

南総



奉祝

さくらさくらさくら

果可と云ふを

相見道
柳河坊

佐保指表内侍と云ふかゝる縁 志的

あんのつとわねん 新右衛門の歌 木次

我門のつとわねん 新右衛門の歌 河泉

あつと年の高らんわさねの表 不骨

と年の高らんわさねの表 春衣

さくらさくらさくら

あつとねむらねとさくらさくら 都目

あつとねむらねとさくらさくら 和衣

あつとねむらねとさくらさくら 春衣

あつとねむらねとさくらさくら 玉心

あつとねむらねとさくらさくら 義經

奉祝

あつとねむらねとさくらさくら 和衣

あつとねむらねとさくらさくら 春衣

あつとねむらねとさくらさくら 義經

あつとねむらねとさくらさくら 二秋

あつとねむらねとさくらさくら 里境

あつとねむらねとさくらさくら 松雅

あつとねむらねとさくらさくら 友里

あつとねむらねとさくらさくら 和衣

あつとねむらねとさくらさくら 春衣

あつとねむらねとさくらさくら 玉心

むし虫を食りし初あり木の枝 義智
ののびりくくもるもやれ中 言
修しれく鞠はさるるあつたのめ 了雄

納言

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん
あはれなき女用ちうれはちうれしうらん

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 余的

むの巻はしり月巻の友 柳阿信

の上もらうらうらうのそくくく 桂下信

くくくくくくくくくくくく 乍見

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 酒泉

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 和衣

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 不意

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 去る

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 玉心

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 義智

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 何後

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 都月

古短歌行一折

納言

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 柳阿信

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 乍見

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 酒泉

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 可勇

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 和衣

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 去る

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 玉心

あはれなき女用ちうれはちうれしうらん 義智

松入〜〜松をわらわすのりよの
一た耕さいえんて地とすの坂
部目

文書

ち〜梅やあ〜あ〜月〜い
二葉坊

唐丁とあ〜あ〜海氣印
治石坊

折五井小〜あ〜あ〜あ〜
醒然

知ぬ酒買〜あ〜あ〜あ〜
之育

竹〜〜福豆志鳥帽あ松引
乙許

陽光のわ〜あ〜あ〜あ〜
一あ

〜〜あ〜あ〜あ〜あ〜
古坊

けさの〜〜あ〜あ〜あ〜あ〜
且善の備〜あ〜あ〜あ〜あ〜
柳阿を坊の頼〜あ〜あ〜あ〜

と忠義と

あ〜あ〜あ〜

〜年とあ〜あ〜

桂下坊

茶坊

